

会員サイト

6月30日

<会員ポジション>

() は注文中・数字のみは建玉中・赤は決済済み

銘柄	限月	建玉日	建玉値段	売枚数	買枚数	終値	新規注文	ロスカット	利食目標
金	1	2018/04	5/15	4465 円	1	4507 円		なし	
	2	2018/04	5/26	4497 円	1	4507 円		なし	
白金	1	2018/04	6/7	3360 円		1	3350 円		
	2	2018/06	6/29	3319 円		1	3346 円	3285 円以下	
コーン	1	2018/05	5/9	22300 円	1	21640 円		なし	
	2	2018/07	6/29	21850 円	1	21580 円		22070 円以上	
ゴム	1	2017/12	6/28	197.9 円		1	205.4 円	なし	210 円以上
	2								

※この会員ポジションは、元本を保証しているものではありません。必ず、ご自身の判断でお願い致します。

世界のETF取組高

銘柄	6月16日時点	前日比	主な増減
金	1985.08	-0.69	
銀	20447.65	+97.55	iシェアーズ増加
白金	71.15	+0.79	ロンドン増加
パラジウム	47.30	+0.15	NY増加

1トン単位

東京トウモロコシの需給・作付面積・四半期在庫予想（6月8日時点）

需給報告	事前予想	FCストーン	インフォーマ	前回
単収（）				170.7Bu（5/10）
生産高（）	140.22億Bu			140.65億Bu（5/10）
期末在庫（5/10）	20.73億Bu			21.1億Bu（5/10）
四半期在庫（）				
作付面積（3/30）	9000万エーカー		8970万エーカー（5/12）	

東京金

一目均衡表	基準値	転換値	雲上限	雲下限
	4487 円	4472 円	4484 円	4468 円
移動平均線 (日足)	5 日	25 日	100 日	
	4488 円	4490 円	4477 円	
移動平均線 (週足)	5 週	25 週	100 週	
	4487 円	4467 円	4364 円	
RSI (14 日)	48.8%	乖離率 (13 日)	0.1%	乖離率 5% が 目安
RSI (14 週)	54.6%	乖離率 (13 週)	-0.2%	

ブルーの印は上値抵抗。イエローは下値支持、グリーンはポイント。

ボリンジャーバンド

$\sigma = +2$	$\sigma = +1$	中心線	$\sigma = -1$	$\sigma = -2$
4539 円	4514 円	4486 円	4460 円	4432 円

CFTC 建玉明細 (~までの一週間)

日付	総取組高	買い	売り	買い - 売り
5/23	462,572	241,752	81,985	159,767
5/30	434,246	250,542	83,452	167,090
6/6	494,041	312,240	107,775	204,465
6/13	471,134	297,178	106,904	190,274
6/20	445,841	252,620	101,945	150,675
前週比	-25,293	-44,558	-4,959	-39,599

コメント 本日の予想レンジ 4490 円~4477 円
今週の予想レンジ 4500 円~4450 円

29日の金現物相場は反落した。中央銀行が超緩和策を縮小する可能性があるとの見方を受けて、欧米の国債利回りが上昇したことが背景。金は金利上昇に極めて敏感で、金利が上昇すると、利回りのない金の保有は機会コストが増す。ただ、ドル相場が下落したため、金相場はレンジ内での浮動にとどまった。ABNアムロのアナリスト、ジョルジェット・ボエル氏は「米ドル安と、(世界的な)金融刺激策の一部撤回期待のせめぎ合いだ。(金相場に)ドル安は支援材料で、刺激策の撤回は下押し要因だ」と述べた。今週に入って相次いだ中銀の金融政策に関するタカ派的な発言は、米国以外の国でも緩和マネーの時代が終わりを迎えつつある可能性を示唆している。金融緩和により、金相場は2011年に過去最高値となる1オンス=1920.30ドルに上昇する一因となった。金相場は、17年4~6月期の期初と期末のさやが5ドル以内に収まる見通し。その場合、四半期の値動きとしては2年超ぶりの小ささとなる。

昨日のNY金の動きを見ますと、ドル安に対しNY金が上がりにくくなっており、1255ドルを維持しにくくなっており、本日のようにドル安・円高で上がりきれないという事は、1255ドル以上を買切ることが困難になっていると考えます。確かに、冒頭で述べておりますように各国の金融引き締め策に対する発言が出始めていることから、今までのように上昇し続けることはないでしょう。左手のCFTCを見ますと、25万枚の買いに対し、10万枚の売りになっており、以前急落した時のファンドの動向を見ますと、売り玉が7万枚に減少した時に起こります。なぜならば、ここにきて買い玉が減少しないという事は、今の値段では買い玉は動かないという事になり、新規で買う事によって、その買った分が整理されれば終わりというケースがここ最近であったため、むしろ売り玉が踏まされ、その反動で下げられるようならば、今は動かない買い玉が低い値位置で動き出してくることから、下値は深くなると予想します。確かにチャートを見ますと、1200ドル割れはいずれ試しに行くと考えます。本日のポイントは4486円~4488円ですが、その水準以上で終わらない限り、来月の相場に期待したいところです。基本売りは売りです。買いは考えません。

東京白金

一目均衡表	基準値	転換値	雲上限	雲下限
	3360 円	3322 円	3384 円	3424 円
移動平均線 (日足)	5 日	25 日	100 日	
	3331 円	3348 円	3449 円	
移動平均線 (週足)	5 週	25 週	100 週	
	3329 円	3461 円	3497 円	
RSI (14 日)	46.3%	乖離率 (13 日)	0.1%	乖離率 7% が 目安
RSI (14 週)	41.5%	乖離率 (13 週)	-1.3%	

ボリンジャーバンド

$\sigma = +2$	$\sigma = +1$	中心線	$\sigma = -1$	$\sigma = -2$
3389 円	3365 円	3339 円	3315 円	3289 円

CFTC 建玉明細 (~までの一週間)

日付	総取組高	買い	売り	買い - 売り
5/23	70,625	45,412	29,125	16,287
5/30	69,380	43,637	26,591	17,046
6/6	69,495	44,817	25,134	19,683
6/13	76,040	46,295	31,059	15,236
6/20	75,380	44,843	32,032	12,811
前週比	-660	-1,452	973	-2,425

コメント 本日の予想レンジ 3348 円~3315 円
今週の予想レンジ 3400 円~3300 円

東京白金は底堅い動きとなっております。しかし、28 日の NY 市場反発時では、ファンドの買戻しが立たように思えます。ただし、今ではファンドのネットロングは 10000 枚を下回っていると考え、それが新規売りを増やしたためであるならば、その買戻しが出てきても不思議ではありません。昨日の中国市場では、112 枚の出来高であり、実需の買いはあまり見受けられませんでした。そのため、夜間取引で一気に売り叩かれましたが、NY 市場の買い玉はほとんど整理されているため、新規売りでの値下がりしがなく、そのため新規売りが止まれば、戻りやすくなると思われます。という事は、高値買うべからず、安値買い拾いとします。

東京市場では 3315 円が下値支持線と考え、3310 円台は全て買い方針、3285 円以下はその買い玉のロスカット、3365 円~3389 円が目先の上値抵抗と考えます。

東京トウモロコシ

一目均衡表	基準値	転換値	雲上限	雲下限
	22170 円	22010 円	22040 円	21880 円
移動平均線 (日足)	5 日	25 日	100 日	
	21590 円	22210 円	22230 円	
移動平均線 (週足)	5 週	25 週	100 週	
	22280 円	22230 円	21990 円	
RSI (14 日)	36.3%	乖離率 (13 日)	-2.3%	乖離率 5% が 目安
RSI (14 週)	41.9%	乖離率 (13 週)	-1.3%	

ボリンジャーバンド

$\sigma = +2$	$\sigma = +1$	中心線	$\sigma = -1$	$\sigma = -2$
23030 円	22630 円	22220 円	21840 円	21420 円

CFTC 建玉明細 (~までの一週間)

日付	総取組高	買い	売り	買い - 売り
5/23	1,389,074	396,676	463,346	-66,670
5/30	1,390,444	382,810	482,311	-99,501
6/6	1,413,738	418,445	450,904	-32,459
6/13	1,444,543	438,144	352,886	85,258
6/20	1,422,725	417,113	375,213	41,900
前週比	-21,818	-21,031	22,327	-43,358

コメント 本日の予想レンジ 21880 円~21600 円
今週の予想レンジ 22200 円~21200 円

反発。小麦相場の急伸に追随した。ドル安も買いを支援した。7月きりの清算値は3.00セント高の359.75セント。新穀12月きりの清算値は3.75セント高の380.00セント。独立記念日以降は米中西部での気温上昇が予想されている。週間輸出成約高は38万4500トンと、予想を下回り、上げ幅を抑えた。

31日午前1時に米農務省から需給報告があります。その事前予想平均は、四半期在庫が51億6000万Bu(3月1日時点86億1600万Bu)、作付推定面積予想は8982万エーカーと若干減少の予想となっております。注目は四半期在庫の発表です。どれだけ需要が伸びたかが理解できます。供給過剰であるため、作付面積の増減よりも、今現在の需要が大事になってきます。いずれにしましても、シカゴ市場のファンD買いの手仕舞い売りは一巡しているため、本日の発表次第で来月の動きが決まってきます。

東京ゴム

一目均衡表	基準値	転換値	雲上限	雲下限
	201.8 円	194 円	220.9 円	234.0 円
移動平均線 (日足)	5 日	25 日	100 日	
	198.6 円	194.4 円	235.4 円	
移動平均線 (週足)	5 週	25 週	100 週	
	195.4 円	245.0 円	193.3 円	
RSI (14 日)	55.8%	乖離率 (13 日)	4.9%	乖離率 10% ~ 15% が目安
RSI (14 週)	44.3%	乖離率 (13 週)	-2.6%	

ボリンジャーバンド

$\sigma = +2$	$\sigma = +1$	中心線	$\sigma = -1$	$\sigma = -2$
205.5 円	198.8 円	192.0 円	185.5 円	178.4 円

コメント 本日の予想レンジ 205.5 円~200.5 円
今週の予想レンジ 205 円~190 円

ゴムは、やはり上がり始めております。生産国 3 か国による会合が来月に近づいていることから、底堅い動きになっておりますが、話は矛盾しますが、買いは短期取りです。実際は売りで対応の方が良いでしょう。200 円割れは全て買い方針ですが、210 円以上は利食い方針です。当先の鞘が拡大するようならば、徹底的に売りで考えます。もしかしますと、七夕天井の予感も感じます。それまでは、テクニカルの買いで対応していきましょう。